

# 地域住民の防災力向上 ～平時からの取組～

地震や記録的豪雨など災害発生に備えた対策は、自治体の最重要課題ですが、ひとたび災害が発生すると行政(公助)ができることには限界があり、住民にとっては、まず自分自身の身の安全を守る「自助」や、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合う「共助」の取組が非常に重要です。この研修では参加体験型の演習や講義、具体的な事例等を通じて平時からの地域住民の防災力向上について考えます。

## 研修のポイント

- 地域コミュニティにおける防災活動の支援の仕方について考える。
- 防災教育の必要性や地区防災計画の活用について理解を深める。
- 平時から出来る減災活動について考え、その手法を学ぶ。

## 開催要領

日程	令和8年5月11日(月)～5月13日(水) (3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村等の防災・危機管理・地域コミュニティの振興・まちづくり等の業務に関わる職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
募集人数	50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	14,600円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和8年4月3日(金)まで ※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

令和8年

5月

11日(月)

11:00~

**入寮受付・昼食**

12:30~

**開講・オリエンテーション**

13:00~13:40

**講義 地域防災力の充実強化について**

消防庁 国民保護・防災部防災課地域防災室

地域の防災体制に関する制度や自主防災組織等の活動を支援するための事業、全国各地の取組事例などについてお話しいただきます。

13:50~16:00

**講義 地域における防災体制の構築に向けて**

～災害のリスクコミュニケーション戦略～

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 矢守 克也 氏

自然災害から命を守るためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、平時から災害に対する心構えを持つことが重要です。

本研修の基調講義として、住民主導での防災体制構築を促すための、住民と行政との効果的なリスクコミュニケーションのあり方について、各地での実践事例を交えながらお話しいただきます。

16:10~17:10

**事例紹介 地域と作る防災～避難放棄者ゼロ・犠牲者ゼロを目指して～**

高知県黒潮町

コーディネーター:京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 矢守 克也 氏

想定津波高が34.4mという“日本で最も高い津波が来る町”とされている高知県黒潮町。困難な状況に直面しても犠牲者ゼロを目指し、防災教育・啓発や自主防災会の組織と機能の強化など防災における25の指針を示し、災害としっかりと向き合いながらまちづくりを推進しています。海外からも防災の町として注目されている黒潮町で、行政と住民がどのように協働し防災活動を行っているかや、庁舎を挙げて取り組んでいる職員地域担当制などについて先進的な事例を交えながらお話しいただきます。

17:10~18:10

**意見交換**

事前課題の内容を中心に、それぞれの自治体での地域住民の防災力向上に関する取組や抱えている課題等について意見交換を行います。

18:20~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~12:00

**演習 ゲーム型教材「クロスロード」を活用した防災意識の向上**

神戸クロスロード研究会 柿本 雅通 氏

神戸市職員の震災対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」をご紹介します。演習ではゲームの活用方法を学びながら、災害対応時に迫られる急な判断を疑似体験します。また、グループで意見交換を行うことにより、日頃からの災害時を想定した取組の重要性について考えます。

13:00~17:00

**演習 「災害図上訓練DIG」で防災対策**

一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部 上席主任研究員 小松 幸夫 氏

地図を囲みながら、地域の特徴や課題を抽出し、起こりうる災害時の被害をイメージしながら、いざというときの対応や事前対策を考える「災害図上訓練DIG」について、実際に体験し、その手法を学びます。

9:25~12:00

**講義 地域防災とまちづくり**

～自助・共助・公助の役割と活動の実質化について考える～

山口大学大学院 創成科学研究科 准教授・総務省消防庁 消防大学校 客員教授 瀧本 浩一 氏

地域における防災活動の現状を踏まえ、住民による自助・共助の役割や地域防災活動のすすめ方、自主防災活動の実質化への取り組み、市町村職員と地域住民との関わり方について、講師が長年にわたる住民啓発の経験から得た知見を事例を交えながらお話しいただきます。

12:00~12:30

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和8年

5月

12日(火)

令和8年

5月

13日(水)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。